

富山大学 医学部同窓会報

2020. 第29号



令和2年度(第39回) 富山大学医学部同窓会総会の開催

令和2年度(第39回)富山大学医学部同窓会総会を以下の日程で開催いたします。一人でも多くの会員の皆様にご参加いただけましたら大変嬉しく思います。

ご参加される場合には、お手数ですがメール等で事務局まで事前にご一報いただくと助かります。どうか宜しく願いたします。

- ◎日時：令和2年9月13日（日）
総会（10:00～12:00）／懇親会（12:00～13:30）
- ◎場所：オークスカナルパークホテル富山
<http://www.oarks.co.jp/canal/>
（富山県富山市牛島町11-1 TEL 0120-372-555）

2020. 第29号

富山大学 医学部同窓会報



<新任教授就任挨拶>

26. 就任のご挨拶 臨床研究管理センター 中條 大輔
27. 寄附講座教授就任の御挨拶 ― 地域医療の大変さを痛感しております ―
糸魚川・地域医療支援学講座 客員教授 岩田 実 (医学科 平成4年卒)
28. 朝日・地域医療支援学講座の紹介
朝日・地域医療支援学講座 山田 徹 (医学科 平成9年卒)
29. 富山大学医学部整形外科教授就任に当たって 川口 善治 (医学科 昭和63年卒)
30. 就任のご挨拶 学術研究部医学系 臨床研究管理センター 寺元 剛
31. 教授就任のご挨拶 分子医科薬理学講座 中川 崇

<病院紹介>

32. 存続可能な地域医療への挑戦
国民健康保険 飛騨市民病院 院長 黒木 嘉人 (医学科 昭和59年卒)

<訃報>

36. 小林正先生を偲んで 獨協医科大学内分泌代謝内科 教授
糖尿病センター センター長 薄井 勲 (医学科 平成3年卒)

38. 第12回富山大学ホームカミングデーのご案内・プログラム
40. 令和元年度富山大学附属病院関連病院長懇談会理事会議事要旨
42. 令和元年度富山大学附属病院関連病院長懇談会総会議事要旨
44. 令和元年度 第38回富山大学医学部同窓会総会 議事録
47. 行事
48. 職掌分担
49. 評議員一覧
50. 平成30年度会計報告
52. 2019富山大学医学部人事消息
54. 編集後記
56. 会計からのお知らせ
-

C O N T E N T S

4. 医学部同窓会報にあてて学長挨拶 学長 齋藤 滋
6. 会長挨拶 会長 田淵 英一 (医学科 昭和62年卒)
7. 医療と政治
女性クリニックWe! TOYAMA代表・富山県議会議員 種部 恭子 (医学科 平成2年卒)
9. バングラデシュでの医療活動 足立 健太郎 (看護科 平成31年卒)
12. 大学院部会近況報告 田近 洋介 (大学院 平成28年卒)
14. がんゲノム医療 臨床腫瘍部 林 龍二 (医学科 平成3年卒)
16. 看護学教育の現状と課題 看護学科長 八塚 美樹 (大学院 平成12年卒)
17. 患者の自立・自律を育む療養支援を目指して
サンショウメディカル株式会社 やまだホームケアクリニック
今井 尚志 (医学科 昭和57年卒)
- <卒業生からのメッセージ>
18. 国立成育医療研究センター 総合アレルギー科 樺島 重憲 (医学科 平成18年卒)
兵庫医科大学 内科学講座総合診療 太田 好紀 (医学科 平成18年卒)
富山大学医学部小児看護学 島田 佳奈子 (旧姓:林) (看護学科 平成16年卒)
20. 全医体準優勝の結果報告 (バドミントン部)
バドミントン部主将 橋隅 舜希 (医学科 2年)
22. 同窓会委員に選ばれて 同窓会委員 小林 玄卓 (医学科 4年)
23. ベルリン留学 脳神経外科 堀 聡 (医学科 平成16年卒)
-



医学部同窓会報にあてて学長挨拶

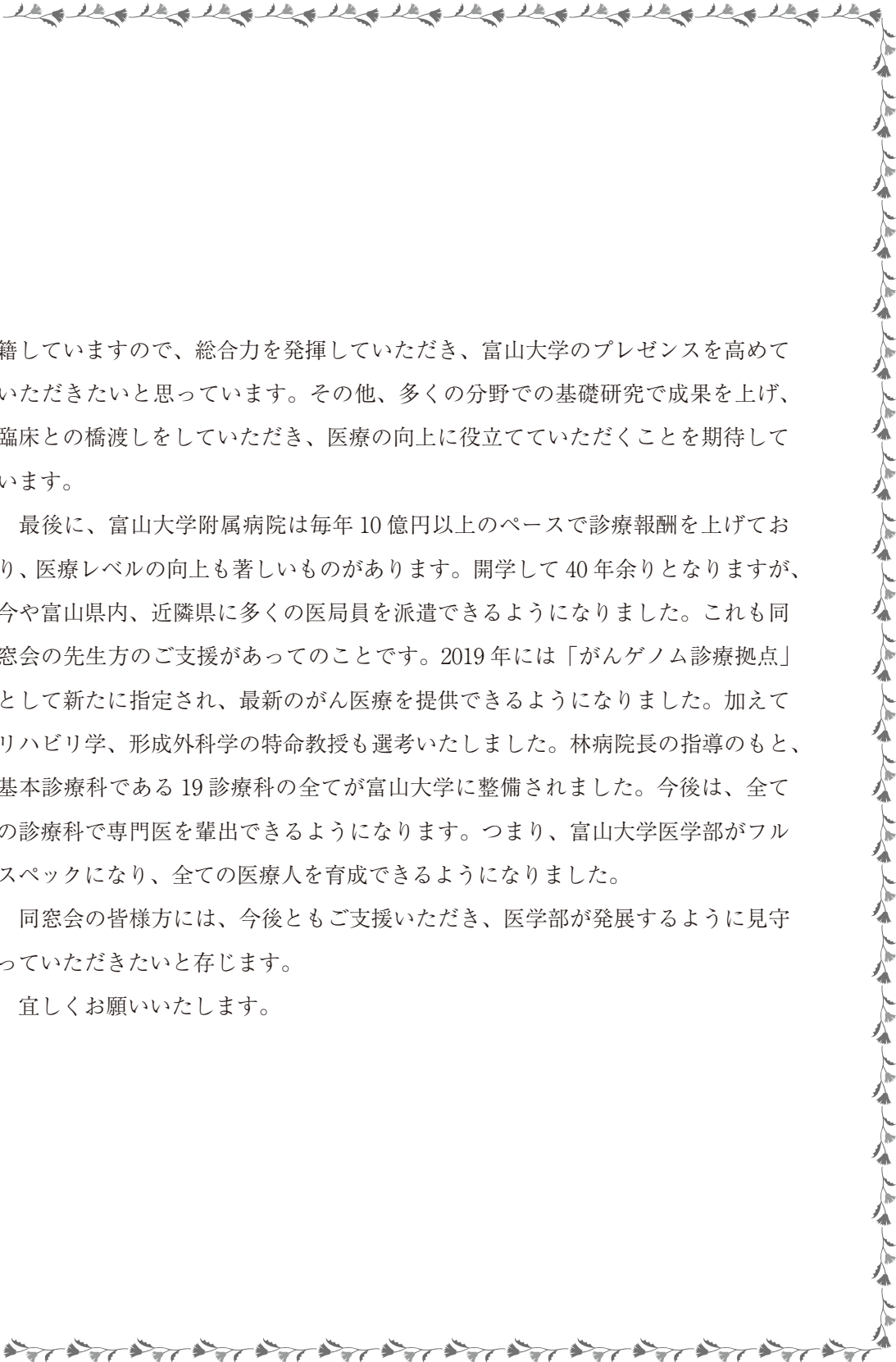
富山大学長 齋藤 滋

皆様、全国の医療機関で地域医療や臨床研究に大変忙しい毎日を送っておられることと存じます。

さて、私は2019年4月1日（令和という年号が交付された日）に文部科学省で学長の辞令を拝領いたしました。それ以降、これまで全く経験してこなかった9学部を有する富山大学長として、大学全体の運営を任されることになりました。つまり、医学部や附属病院以外の事も任されるようになりました。

まず実感したのは、富山大学が国立大学ではなく、国立大学法人となっていることを実感いたしました。国からの運営費交付金は年に1%ずつ減額されていきますが、その代わりに外部資金を獲得できるようになりました。医学部に限定すると、各自治体からの寄附により、寄附講座を設立し、地域医療を支えることができるようになりました。また、製薬企業や医療機器メーカーと共同で医薬品や医療機器を開発することが可能となり、収入も得ることが可能となりました。削減される運営費交付金を外部資金で補わないと現状維持はできないので頑張らないといけません。昨年には内閣府の地方創生事業「くすりのシリコンバレー TOYAMA」が採択され、富山大学、富山県立大学、富山県薬総研が中心となり、県内の製薬企業と協力して創薬を実現化することになりました。そのため、附属病院臨床研究管理センターを充実し、2名の特命教授を雇用しました。これまで *in vitro*, *in vivo* で止まっていた基礎研究から医師主導の臨床試験や企業主導の臨床治験まで進めることが可能となりました。今後の成果に期待したいと思います。

また、これまで以上に基礎研究の充実を図る必要があります。井ノ口教授には、卓越教授に就任いただき、「脳アイドリングセンター」を立ち上げていただきました。富山大学には、井ノ口先生以外にも多くのニューロサイエンティストが在



籍していますので、総合力を発揮していただき、富山大学のプレゼンスを高めて
いただきたいと思います。その他、多くの分野での基礎研究で成果を上げ、
臨床との橋渡しをしていただき、医療の向上に役立てていただくことを期待して
います。

最後に、富山大学附属病院は毎年 10 億円以上のペースで診療報酬を上げてお
り、医療レベルの向上も著しいものがあります。開学して 40 年余りとなりますが、
今や富山県内、近隣県に多くの医局員を派遣できるようになりました。これも同
窓会の先生方のご支援があつてのことです。2019 年には「がんゲノム診療拠点」
として新たに指定され、最新のがん医療を提供できるようになりました。加えて
リハビリ学、形成外科学の特命教授も選考いたしました。林病院長の指導のもと、
基本診療科である 19 診療科の全てが富山大学に整備されました。今後は、全て
の診療科で専門医を輩出できるようになります。つまり、富山大学医学部がフル
スペックになり、全ての医療人を育成できるようになりました。

同窓会の皆様方には、今後ともご支援いただき、医学部が発展するよう見守
っていただきたいと思います。

宜しく願いいたします。



会長挨拶

富山国際学園富山短期大学 専攻科食物栄養専攻科長

会長 田淵 英一（医学科 昭和62年卒）

昨年も色々な出来事がありました。最も大きな話題は、やはり年号の改定でしょう。平成生まれの学生が入学した時にはとてもびっくりしましたが、その平成が終わり、令和になると、もう私たち昭和生まれは、今の若い人たちにとっては化石的なのかもしれません。

母校の富山大学も刻々と変わってきており、昨年度は、第一期卒業生・足立雄一先生が医学部長となり、初めて母校出身の医学部長が誕生しました。富山大学長も遠藤俊郎先生から斎藤滋先生にバトンタッチされました。どちらも医学部からの選出です。学生たちも、富山医科薬科時代の卒業生の子供たちが続々と入学そして卒業しており、世代交代がどんどん進んでいます。

また、昨年度は第9回卒業の種部恭子先生が富山県議会議員となり、着実に富山大学医学部が富山県にはなくてはならない存在になってきています。

医療現場でも、長い年月をかけて多職種連携が漸く浸透してきており、まだまだ課題が多くありますが、どこの病院でも見かけるようになりました。

今年は、遂にオリンピックイヤーです。話題豊富な年になりそうですね。

同窓会事務局から会員の皆様へのお願い

同窓会事務局では、常時、慶事や甲事の情報収集して、会報等でお知らせしておりますが、会員の皆様からの情報が大変役に立っております。

会員の吉報・訃報等をお知りになりました場合には、お手数をおかけしますが、メール、ファックス、電話等で事務局までご一報ください。

富山大学医学部同窓会 事務局

TEL 076(427)1185 内線 7149 FAX 076(427)1150 E-mail:alum@med.u-toyama.ac.jp